

対象校No. 133
注4

学校コード F129110109215
注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部 of 学科 of 設置
注1

事前相談

注2
奈良女子大学 生活環境学部 文化情報学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人奈良国立大学機構 奈良女子大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	企画課
職名・氏名	ケイエイクカカリチョウ ヒラオタカヒサ 経営企画係長 平尾隆久
電話番号	0742-20-3692 (内線: 3692)
(夜間)	0742-20-3692
e-mail	hyoka@jimmu.nara-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「○○大学」
- 学部の設置の場合: 「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

生活環境学部

＜文化情報学科＞

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	4
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人奈良国立大学機構

(2) 大 学 名

奈良女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(サカキ ヒロユキ) 榊 裕之 (令和4年4月)	—	
学 長	(イマオカ ハルキ) 今岡 春樹 (令和4年4月)	(タカダ マサシ) 高田 将志 (令和6年4月)	任期満了に伴う学長の交代 令和6年4月1日 (6)
学 部 長	(ナカヤマ トオル) 中山 徹 (令和4年4月)	(スズキ ノリコ) 鈴木 則子 (令和6年4月)	任期満了に伴う学部長の交代 令和6年4月1日 (6)
学科長等	(ハヤシダ トシコ) 林田 敏子 (令和4年4月)	(アンドウ カオリ) 安藤 香織 (令和6年4月)	任期満了に伴う学科長の交代 令和6年4月1日 (6)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生活環境学部 文化情報学科 学士(生活環境学)	文学関係 教育学・保育学関係 法学関係 経済学関係 社会学・社会福祉学関係	4年	45人	2年次 人 3年次 人 4年次 人	180人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	45 () []	人 () []	45 () []	人 () []	人 () []	人 () []				
志願者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	156 () []	人 () []	176 () []	人 () []	人 () []	140 () []				
受験者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	107 () []	人 () []	111 () []	人 () []	人 () []	94 () []				
合格者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	53 () []	人 () []	52 () []	人 () []	人 () []	55 () []				
B 入学者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	51 () []	人 () []	49 () []	人 () []	人 () []	51 () []				
入学定員超過率 B/A	-		-				1.13		1.08			1.13				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 転入学学生は記入しないでください。
・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合は、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・ 「(5) ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	51 () []	0 () []	49 () []	人 () []	51 () []	人 () []	生活文化学コースの令和6年度の3年次生について、令和6年度に他学科からの転入生2名があり、昨年度33名から2名増えて35名となっている。
2年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	50 () []	0 () []	49 () []	0 () []	生活情報通信科学コースの令和6年度3年次生について、他学科への転出者1名があり、昨年度17名から1名減って16名となっている。
3年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	51 () []	0 () []	
4年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	
計	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	51 () []	0 () []	99 () []	1 () []	151 () []	2 () []	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ ()内には、留学者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 編入学学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	51 人	1 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	99 人	1 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	1 人	人	他の教育機関への転学(1名)
			令和5年度	人	人	
令和6年度	151 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{51} = \boxed{1.96} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{99} = \boxed{1.01} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{151} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<生活環境学部 文化情報学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					業 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教育科目	外国語科目	コンプリヘンシブ・イングリッシュ	1前・後	1							1
		ブラクティカル・イングリッシュ	1前・後	1							1
		アカデミック・イングリッシュ	2前・後	1							1
		プレゼンテーション・イングリッシュ	2前・後	1							1
		ドイツ語 I A	1前・後	1							1
		ドイツ語 I B	1前・後	1							1
		ドイツ語 II A	2・3・4前・後	1							1
		ドイツ語 II B	2・3・4前・後	1							1
		ドイツ語 III	2・3・4前	1							1
		ドイツ語 IV	2・3・4後	1							1
		フランス語 I A	1前・後	1							1
		フランス語 I B	1前・後	1							1
		フランス語 II A	2・3・4前・後	1							1
		フランス語 II B	2・3・4前・後	1							1
		フランス語 III	2・3・4前	1							1
		フランス語 IV	2・3・4後	1							1
	中国語科目	中国語 I	1前・後	1							1
		中国語 II	2前・後	1							1
		中国語 III	2・3・4前	1							1
		中国語 IV	2・3・4後	1							1
教養 教育科目	保健 体育科目	健康運動実習 I	1前	1							1
		健康運動実習 II	1後	1							1
		スポーツ実習	2前	1							1
	情報 処理科目	情報処理入門 I	1前	2			1				
		情報処理入門 II	2後	2		1					
	大学 生活入門・ バ	「奈良」女子大学入門	1前	2							1
		これからの社会で生きるために	3通	1							1
		バサージュ	1前	1							1

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					業 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教育科目	外国語科目	コンプリヘンシブ・イングリッシュ	1前・後	1							6
		ブラクティカル・イングリッシュ	1前・後	1							10
		アカデミック・イングリッシュ	2前・後	1							2
		プレゼンテーション・イングリッシュ	2前・後	1							3
		ドイツ語 I A	1前・後	1							2
		ドイツ語 I B	1前・後	1							1
		ドイツ語 II A	2・3・4前・後	1							2
		ドイツ語 II B	2・3・4前・後	1							1
		ドイツ語 III	2・3・4前	1							1
		ドイツ語 IV	2・3・4後	1							1
		フランス語 I A	1前・後	1							2
		フランス語 I B	1前・後	1							1
		フランス語 II A	2・3・4前・後	1							2
		フランス語 II B	2・3・4前・後	1							1
		フランス語 III	2・3・4前	1							1
		フランス語 IV	2・3・4後	1							1
	基礎 教育科目	スペイン語初級 I	1前	1							1
		スペイン語初級 II	1後	1							1
		スペイン語中級 I	2前	1							1
		スペイン語中級 II	2後	1							1
		中国語 I	1前・後	1							3
		中国語 II	2前・後	1							3
		中国語 III	2・3・4前	1							1
		中国語 IV	2・3・4後	1							1
		中国語検定初級 I	1前	1							1
		中国語検定初級 II	1後	1							1
教養 教育科目	日本 語科目	中国語検定中級 I	2前	1							1
		中国語検定中級 II	2後	1							1
		ロシア語初級 I	2前	1							1
		ロシア語初級 II	2後	1							1
		ロシア語中級 I	2前	1							1
		ロシア語中級 II	2後	1							1
		韓国語初級 I	1前	1							1
		韓国語初級 II	1後	1							1
		韓国語中級 I	2前	1							1
		韓国語中級 II	2後	1							1
教養 教育科目	大学 生活入門・ バ	日本語 I A	1前	1							1
		日本語 I B	1後	1							1
		日本語 I C	1前	1							1
		日本語 I D	1後	1							1
		日本語 II A	2・3・4前	1							1
		日本語 II B	2・3・4後	1							1
		日本語 II C	2・3・4前	1							1
		日本語 II D	2・3・4後	1							1
		日本事情A	1前	1							1
		日本事情B	1後	1							1
教養 教育科目	大学 生活入門・ バ	日本語 F I	1前・後	1							1
		日本語 F II	1前・後	1							1
		日本語 F III	2・3・4前	1							1
		日本語 F IV	2・3・4後	1							1
		日本語 J I	2・3・4前	1							1
		日本語 J II	2・3・4後	1							1
	保健 体育科目	健康運動実習 I	1前	1							6
		健康運動実習 II	1後	1							5
		スポーツ実習	2前	1							3
	情報 処理科目	情報処理入門 I	1前	2							1
		情報処理入門 II (未開講)	2後	2		1					
教養 教育科目	大学 生活入門・ バ	情報基礎 (未開講)	1後	2							1
		「奈良」女子大学入門	1前	2							1
		考える力をみがく	2後	2							1
		これからの社会で生きるために	3通	1							1
教養 教育科目	大学 生活入門・ バ	留学への誘い	1・2・3・4前	1							1
		バサージュ	1前	1			1				21

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				履修 単位数
				1	2	3	4	1	2	3	4	
教養教育科目	人間と文化	アジア学入門	1前	2								1
		アラビアの言語と文化	1後	2								1
		現代の倫理	1前	2								1
		歴史学	1前	2								1
		日本の言語と文学	1前	2								1
		ことばのしくみ	1後	2								1
		ことばと文化	1前	2								1
		日本の美と芸術	1前	2								1
		人類史	1前	2								1
		考古学ゼミ	1前	2								1
		古典を読むⅠ	3後	2								1
		古典を読むⅡ	3後	2								1
		環太平洋くろしお文化論	1後	2								1
	生活と社会	日本国憲法	1前	2			1					1
		人権と差別	1後	2								1
		ジェンダー論入門	1前	2		1						1
		なら学	1前	2								1
	人間と自然	なら学+(プラス)	1後	2								1
		社会学	1後	2								1
	人間と自然	いのちと健康	1前	2								1
		生活と健康	1後	2								1
		共生科学	1後	2								1
		生活の中の物理学	1後	2								1
		化学の常識	1後	2								1
		環境と生物	1後	2								1
		健康・スポーツ科学	1後	2								1
		生命・運動・健康	1前	2								1
		人体科学	1後	2								3
		小計(56科目)	-	2	85	0	2	1	0	1	0	34
教養教育科目	人間と文化	アジア学入門	1前	2								4
		アラビアの言語と文化	1後	2								1
		ベトナムの言語と文化	1後	2					1			1
		哲学の歴史	1後	2								1
		現代の倫理	1前	2								1
		現代宗教学への招待	1前	2								1
		心の科学への招待	1前	2								1
		社会と文化の心理学	1後	2								1
		歴史学	1前	2								1
		日本の言語と文学	1前	2								1
		ことばのしくみ	1前	2								1
		ことばと文化(未開講)	1前	2								1
		西洋の言語と文化(未開講)	1後	2								1
		日本の美と芸術	1前	2								1
	生活と社会	西洋の美と芸術	1後	2								1
		音楽概説	1後	2								1
		地域のひと暮らし	1前	2								1
		人類史	1前	2								1
	人間と自然	考古学ゼミ(未開講)	1前	2								1
		古典を読むA	3後	2								3
	人間と自然	古典を読むB	3後	2								1
		環太平洋くろしお文化論	1後	2								6
		自然環境の地理学(未開講)	1後	2								1
		奈良と教育ーここはどこ？私は誰？ー	1前	2								1
		日本国憲法	1前	2			1					4
		人権と差別	1後	2								3
		ジェンダー論入門	1前	2			2	1				5
		なら学	1前	2				1				1
		なら学+(プラス)	1後	2								1
		社会学	1後	2								1
		法律学	1前	2								1
		政治学	1前	2								1
		国際関係論	1後	2								1
		経済学	1後	2								1
		統計学	1前	2								1
		女性リーダー論(未開講)	1前	2			1					1
		奈良を知る	1後	1								1
	グローバル教育科目	いのちと健康	1前	2								1
		生活と健康	1後	2								1
		共生科学	1後	2								5
		社会に生きるまでに習って欲しい科目Ⅰ(未開講)	3前	1								1
		教養としての自然科学A	3前	1								5
		教養としての自然科学B	3後	1								5
		アメリカ学生研修SEASoN	1通	2								2
		数学入門	1後	2								1
		生活の中の物理学	1後	2								1
		化学の常識	1後	2								1
	グローバル教育科目	環境と生物	1後	2								1
		教養としての化学数学(未開講)	3前	1								1
		ジェンダー生理学	1前	2								1
		固体地球環境学入門	1後	2								1
		科学史	1後	2								1
		生活と色彩	1前	2								1
		健康・スポーツ科学	1後	2								6
		人体科学	1後	2								4
		ベーシックサイエンスⅠ	1前	2								1
		ベーシックサイエンスⅡ(未開講)	1後	2								1
		日本文化と地域社会A	1前	3								3
		日本文化と地域社会B	1前	3								3
		日本文化と地域社会C	1前・後	2								3
		日本文化と地域社会D	1前・後	2								3
		Modern Japanese Literature and Media A	1前	2								1
		Modern Japanese Literature and Media B	1後	2								1
		Japanese Culture and History A	1前	2								1
		Japanese Culture and History B	1後	2								1
		Contemporary Japanese Society A	1前	2								1
		Contemporary Japanese Society B	1後	2								1
		Traditional Japanese Culture A	1前	2								1
		Traditional Japanese Culture B	1後	2								1
		Global Studies and Communication A	1前	2								1
		Global Studies and Communication B	1後	2								1
		小計(134科目)	-	2	206	0	3	4	0	0	0	124

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数						専任教員等の配置						単位・ 科目
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
科 共 学 目 通 部	生活環境学原論	1後	2												1
	児童学	1後		2											1
	家庭機械・家庭電気・情報処理	1後		2											1
	小計(3科目)	—	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
(選択科目より2専 門科目修得必要)	文化情報学概論	1前	2			6	5	2							1
	社会事業史	1前		2											
	生活の情報管理とシステム	1後		2		1									
	ジェンダー文化論	2前		2		1									
	ジェンダー理論	2後		2		1									
	ソーシャルリサーチ論	2後		2											1
	消費者法	2前		2			1								
	家族関係論	2前		2			1								
	食と農の経済学	2前		2				1							
	人間関係文化論	2後		2			1								
	生活と情報倫理	1前		2											1
	生活文化と人工知能	1前		2		1									
	応用数学Ⅰ(微分積分学)	1前		2					1						
	応用数学Ⅱ(線型代数学)	1後		2				1							
	生活と統計学	1後		2											1
	情報社会学	2前		2											1
	情報と職業	2前		2											1
	文化情報学演習	2後		2		6	5	2							
	経営データサイエンス	3前		2		1									
	失敗学と創造学	3後		2											1
	小計(20科目)	—	6	34	0	6	1	2	0	0	0	0	0	0	18
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生 活 文 化 学 コ ー ス 専 門 教 育 科 目	食物科学概論	1前		2										6
		調理学実習	1前		1										1
		応用調理学実習	1後		1										1
		衣環境学概論	1後		2										2
		被服学実習Ⅰ	1前		1										1
		被服学実習Ⅱ	1後		1										1
		家族援助法	1前		2										1
		経済政策	1前		2										1
		生活文化学入門	1後		2		4	3	1						
		生活文化学の方法	1後		2		1								
		食生活文化論	1後		2										1
		住生活文化論	1後		2										1
		消費経済分析論	1後		2										1
		社会システム論	2前		2		1								
		服飾とジェンダー	2前		2		1								
		視覚文化論	2前		2		1								
		医療社会文化史	2前		2		1								
		社会統計学	2前		2										1
		生活経営学	2前		2										1
		経済原論Ⅰ(ミクロ経済学)	2前		2										1
		経済原論Ⅱ(マクロ経済学)	2前		2										1
		女性生活史	2後		2		1								
		人口と家族の社会学	2後		2			1							
		生活経済学	2後		2				1						
		ライフスタイルと法	2後		2			1							
		Multicultural Society	2後		2										1
		消費者法演習	2後		2			1							
		視覚文化論演習	2後		2		1								
		ジェンダー文化論演習	3前		2		1								
		人間関係論演習	3前		2			1							
		人間関係文化論外書購読	3前		2			1							
		家族関係論演習	3前		2			1							
		生活文化史演習	3前		2		1								
		社会システム論演習	3前		2		1								
		生活経済学演習	3前		2				1						
		生活文化学演習	3後		2		4	3	1						
		インターンシップ実習(生活文化学)	3前			1		1							
		小計(37科目)	—	8	66	1	9	2	0	0	0	0	0	0	25
	関 する 研 究 科 目 Ⅱ	生活文化学卒業演習Ⅰ	4前		2		4	3	1						
		生活文化学卒業演習Ⅱ	4後		2		4	3	1						
		卒業研究Ⅰ	4前		6		4	3	1						
		卒業研究Ⅱ	4後		6		4	3	1						
		小計(4科目)	—	16	0	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0
	コ ー ス 専 門 教 育 科 目	プログラミング言語Ⅰ	1前		2			1							
		プログラミング言語演習	1前		2				1						
		プログラミング言語Ⅱ	2前		2				1						
		離散数学	1後		2			1							
		情報処理技術Ⅰ	1前		2										1
		情報処理技術Ⅱ	1後		2										1
		データベース論	1後		2				1						
		データベース演習	1後		2				1						
科 共 学 目 通 部	生活環境学原論	1後	2												1
	児童学	1後		2											1
	小計(2科目)	—	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	文化情報学概論	1前		2			9	8	1						
(選択科目より2専 門科目修得必要)	コ ー ス 専 門 教 育 科 目	社会事業史	1前		2										1
		生活の情報管理とシステム	1後		2		1								
		ジェンダー文化論	2前		2		1								
		ジェンダー理論	2後		2		1								
		ソーシャルリサーチ論	2後		2										1
		消費者法	2前		2			1							
		家族関係論	2前		2				1						
		食と農の経済学	2前		2				1						
		人間関係文化論	2後		2			1							
		生活と情報倫理	1前		2										1
		生活文化と人工知能	1前		2		1								
		応用数学Ⅰ(微分積分学)	1前		2							1			
		応用数学Ⅱ(線型代数学)	1後		2							1			
		生活と統計学	1後		2										1
		情報社会学	2前		2										1
		情報と職業	2前		2										1
		文化情報学演習	2後		2			9	8	1					
		経営データサイエンス	3前		2		1								
		失敗学と創造学	3後		2										1
		小計(20科目)	—	6	34	0	9	8	1						6
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生 活 文 化 学 コ ー ス 専 門 教 育 科 目	食物科学概論	1前		2										6
		調理学実習	1前		1										1
		応用調理学実習	1後		1										1
		衣環境学概論	1後		2										2
		被服学実習Ⅰ	1前		1										1
		被服学実習Ⅱ	1後		1										1
		家族援助法(未開講)	1前		2										1
		経済政策	1前		2										1
		生活文化学入門	1後		2			6	3						
		生活文化学の方法(未開講)	1後		2		1								
		食生活文化論(未開講)	1後		2										1
		住生活文化論	1後		2										1
		消費経済分析論	1後		2				1						
		社会システム論	2前		2		1								
		服飾とジェンダー	2前		2		1								
		視覚文化論	2前		2		1								
		医療社会文化史	2前		2		1								
		社会統計学	2前		2										1
		生活経営学	2前		2										1
		経済原論Ⅰ(ミクロ経済学)	2前		2				1						
		経済原論Ⅱ(マクロ経済学)	2前		2				1						
		女性生活史	2後		2		1								
		人口と家族の社会学	2後		2				1						
		生活経済学	2後		2				1						
		ライフスタイルと法	2後		2			1							
		Multicultural Society	2後		2										1
		消費者法演習	2後		2			1							
		企業経済論演習	2後		2				1						
		視覚文化論演習	2後		2		1								

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
コース専門 教育科目	アルゴリズムとデータ構造	1後	2			1					1
	論理回路論	2前	2			1					
	計算機アーキテクチャ論	2後	2		1						
	生活と情報理論	2前	2		1						
	計算機ネットワーク	2後	2	2		1					
	計算機実験Ⅰ	2前	2		2	2	1				
	計算機実験Ⅱ	2後	2		2	2	1				
	ソフトウェア工学概論	2前	2	2		1					
	ヒューマンインターフェース概論	2後	2								
	言語処理系論	3前	2			1					
	オペレーティングシステム論	3前	2		1						
	パターン認識	3前	2		1						
	ソーシャルコンピューティング	3前	2		1						
	生活と数理論理学	3後	2			1					
	生活と人工知能	2後	2		1						
	グラフ理論	3後	2			1					
	プログラミング特別演習Ⅰ	1-4前	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅱ	1-4後	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅲ	1-4前	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅳ	1-4後	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅴ	1-4前	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅵ	1-4後	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅶ	1-4前	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅷ	1-4後	2		2	2	1				
	情報処理技術特別演習	3後	2		2	2	1				
	小計(33科目)	-	20	46	0	2	2	1	0	0	2
開 学 研 究 目 に	卒業研究Ⅰ	3前		5		2	2	1			
	卒業研究Ⅱ	3後		5		2	2	1			
	卒業研究Ⅲ	4前		5		2	2	1			
	卒業研究Ⅳ	4後		5		2	2	1			
小計(4科目)		-	10	10	0	2	2	1	0	0	0
小計(165科目)		-	64	245	1	6	5	2	0	0	67
卒業要件及び履修方法											
【生活文化学コース】 教養教育科目 34単位以上 (外国語科目12単位以上、保健体育科目必修2単位、教養科目群20単位以上) ※外国語科目については英語・ドイツ語・フランス語から第一外国語として8単位以上、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語から第二外国語として4単位以上を修得する。 専門教育科目 必修科目26単位(学部共通2単位、学科共通6単位、コース専門教育科目18単位) 選択必修科目46単位(学科共通22単位、コース専門教育科目24単位)以上 【生活情報通信科学コース】 教養教育科目 30単位以上 (外国語科目12単位以上、保健体育科目必修2単位、教養科目群16単位以上) ※外国語科目については英語8単位とドイツ語・フランス語・中国語から4単位、計12単位以上を修得する。 専門教育科目 必修科目38単位(学部共通2単位、学科共通6単位、コース専門教育科目30単位) 選択必修科目38単位(学科共通22単位、コース専門教育科目16単位)以上 【卒業単位】124単位以上 【履修科目の登録上限】年間48単位											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
コース専門 教育科目	アルゴリズムとデータ構造	1後	2			1					1
	論理回路論	2前	2			1					
	計算機アーキテクチャ論	2後	2		1						
	生活と情報理論	2前	2		1						
	計算機ネットワーク	2後	2	2		1					
	計算機実験Ⅰ	2前	2		2	3					
	計算機実験Ⅱ	2後	2		2	3					
	ソフトウェア工学概論	2前	2	2				1			
	ヒューマンインターフェース概論	2後	2								
	言語処理系論	3前	2			1					
	オペレーティングシステム論	3前	2		1						
	パターン認識	3前	2		1						
	ソーシャルコンピューティング	3前	2		1						
	生活と数理論理学	3後	2			1					
	生活と人工知能	2後	2		1						
	グラフ理論	3後	2			1					
	プログラミング特別演習Ⅰ(未開講)	1-4前	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅱ(未開講)	1-4後	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅲ(未開講)	1-4前	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅳ(未開講)	1-4後	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅴ(未開講)	1-4前	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅵ(未開講)	1-4後	2		2	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅶ(未開講)	1-4前	2		4	2	1				
	プログラミング特別演習Ⅷ(未開講)	1-4後	2		4	2	1				
	情報処理技術特別演習	3後	2		4	2					
	小計(33科目)	-	20	46	0	3	3	1	0	0	2
開 学 研 究 目 に	卒業研究Ⅰ	3前		5		3	3	1			
	卒業研究Ⅱ	3後		5		3	3	1			
	卒業研究Ⅲ	4前		5		3	3	1			
	卒業研究Ⅳ	4後		5		3	3	1			
小計(4科目)		-	10	10	0	3	3	1	0	0	0
小計(235科目)		-	64	368	1	9	6	1	0	0	152
卒業要件及び履修方法											
【生活文化学コース】 教養教育科目 34単位以上 (外国語科目12単位以上、保健体育科目必修2単位、教養科目群20単位以上) ※外国語科目については英語・ドイツ語・フランス語から第一外国語として8単位以上、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語から第二外国語として4単位以上を修得する。 専門教育科目 必修科目26単位(学部共通2単位、学科共通6単位、コース専門教育科目18単位) 選択必修科目46単位(学科共通22単位、コース専門教育科目24単位)以上 【生活情報通信科学コース】 教養教育科目 30単位以上 (外国語科目12単位以上、保健体育科目必修2単位、教養科目群16単位以上) ※外国語科目については英語8単位とドイツ語・フランス語・中国語から4単位、計12単位以上を修得する。 専門教育科目 必修科目38単位(学部共通2単位、学科共通6単位、コース専門教育科目30単位) 選択必修科目38単位(学科共通22単位、コース専門教育科目16単位)以上 【卒業単位】124単位以上 【履修科目の登録上限】年間48単位											

【令和4年度】													【令和5年度】												
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	必修					選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教					
教養教育科目	外国語科目	基礎科目群	コンプリヘンシブ・イングリッシュ	1前・後	1							6	コンプリヘンシブ・イングリッシュ	1前・後	1								6		
			ブラクティカル・イングリッシュ	1前・後	1								10	ブラクティカル・イングリッシュ	1前・後	1								10	
			アカデミック・イングリッシュ	2前・後	1								2	アカデミック・イングリッシュ	2前・後	1								2	
			プレゼンテーション・イングリッシュ	2前・後	1								3	プレゼンテーション・イングリッシュ	2前・後	1								3	
			ドイツ語ⅠA	1前・後	1								3	ドイツ語ⅠA	1前・後	1								2	
			ドイツ語ⅠB	1前・後	1								3	ドイツ語ⅠB	1前・後	1								1	
			ドイツ語ⅡA	2・3・4前・後	1								1	ドイツ語ⅡA	2・3・4前・後	1								2	
			ドイツ語ⅡB	2・3・4前・後	1								1	ドイツ語ⅡB	2・3・4前・後	1								1	
			ドイツ語Ⅲ	2・3・4前	1								1	ドイツ語Ⅲ	2・3・4前	1								1	
			ドイツ語Ⅳ	2・3・4後	1								1	ドイツ語Ⅳ	2・3・4後	1								1	
			フランス語ⅠA	1前・後	1								1	フランス語ⅠA	1前・後	1								2	
			フランス語ⅠB	1前・後	1								2	フランス語ⅠB	1前・後	1								1	
			フランス語ⅡA	2・3・4前・後	1								1	フランス語ⅡA	2・3・4前・後	1								2	
			フランス語ⅡB	2・3・4前・後	1								1	フランス語ⅡB	2・3・4前・後	1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准	講	助	手	
教養教育科目	生活と社会	日本国憲法	1前	2			1				6
		人権と差別	1後	2			1				4
教養教育科目	人間と自然	ジェンダー論入門	1前	2		2	1				4
		文化と民族	1後	2							1
教養教育科目	グローバル教育科目	なら学	1前	2				1			7
		なら学+(プラス)	1後	2							1
教養教育科目	生活と社会	社会学	1前	2							1
		社会学	1後	2							1
教養教育科目	人間と自然	法律学	1前	2							1
		政治学	1前	2							1
教養教育科目	生活と社会	国際関係論	1前	2							1
		経済学	1後	2							1
教養教育科目	人間と自然	女性リーダー論	1前	2		1					1
		女性リーダーシップ演習	1後	2							1
教養教育科目	生活と社会	食生活を学ぶ	1後	2							1
		いのちと健康	1前	2							1
教養教育科目	人間と自然	生活と健康	1後	2							1
		共生科学	1後	2							5
教養教育科目	生活と社会	社会に出るまでに知っておきたい事Ⅰ	3前	1							4
		教養としての自然科学A	3前	1							5
教養教育科目	人間と自然	教養としての自然科学B	3後	1							5
		アメリカ学生研修SEASoN	1通	2							4
教養教育科目	生活と社会	数学入門	1後	2							1
		生活の中の物理学	1後	2							2
教養教育科目	人間と自然	化学の常識	1後	2							1
		環境と生物	1後	2							1
教養教育科目	生活と社会	教養としての化学数学	3前	1							1
		ジェンダー生理学	1前	2							1
教養教育科目	人間と自然	固体地球環境学入門	1後	2							1
		科学史	1後	2							1
教養教育科目	生活と社会	生活と色彩	1前	2							1
		健康・スポーツ科学	1後	2							6
教養教育科目	人間と自然	生命・運動・健康	1前	2		1					4
		人体科学	1後	2							3
教養教育科目	生活と社会	ベーシックサイエンスⅠ	1前	2							3
		ベーシックサイエンスⅡ	1後	2							1
小計(106科目)			—	2	163	0	3	3	2	0	132
科 共 学 目 通 部	生活環境学原論	児童学	1後	2							1
		家庭電機・家庭電気・情報処理	1後	2							1
科 共 学 目 通 部	小計(3科目)	文化情報学概論	—	2	4	0	0	0	0	0	3
		社会事業史	1前	2			6	5	2		1
科 共 学 目 通 部	生活の情報管理とシステム	ジェンダー文化論	1後	2			1				
		ジェンダー理論	2前	2			1				
科 共 学 目 通 部	ソーシャルリサーチ論	消費者法	2後	2							1
		家族関係論	2前	2			1				
科 共 学 目 通 部	食と農の経済学	人間関係文化論	2前	2				1			
		生活と情報倫理	2後	2							1
科 共 学 目 通 部	生活文化と人工知能	応用数学Ⅰ(微分積分学)	1前	2			1				
		応用数学Ⅱ(線型代数学)	1後	2				1			
科 共 学 目 通 部	生活と統計学	情報社会学	1後	2							1
		情報と職業	2前	2							1
科 共 学 目 通 部	文化情報学演習	経営データサイエンス	2後	2			6	5	2		
		失敗学と創造学	3前	2			1				1
小計(20科目)			—	6	34	0	6	5	2	0	6
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	食物科学概論	1前	2							6
		調理学実習	1前	1							1
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	応用調理学実習	1後	1							1
		衣環境学概論	1後	2							2
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	被服学実習Ⅰ	1前	1							1
		被服学実習Ⅱ	1後	1							1
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	家族援助法(未開講)	1前	2							1
		経済政策	1前	2							1
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	生活文化学入門	1後	2			4	3	1		
		生活文化学の方法(未開講)	1後	2			1				1
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	食生活文化論(未開講)	1後	2							1
		住生活文化論	1後	2							1
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	消費経済分析論	1後	2							1
		社会システム論	2前	2			1				
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	服飾とジェンダー	2前	2			1				
		視覚文化論	2前	2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准	講	助	手	
教養教育科目	生活と社会	日本国憲法	1前	2			1				6
		人権と差別	1後	2			1				4
教養教育科目	人間と自然	ジェンダー論入門	1前	2		2	1				4
		文化と民族	1後	2							1
教養教育科目	生活と社会	なら学	1前	2				1			7
		なら学+(プラス)	1後	2							1
教養教育科目	人間と自然	社会学	1後	2							1
		法律学	1前	2							1
教養教育科目	生活と社会	政治学	1前	2							1
		国際関係論	1後	2							1
教養教育科目	人間と自然	経済学	1後	2							1
		女性リーダー論	1前	2		1					1
教養教育科目	生活と社会	女性リーダーシップ演習	1後	2							1
		食生活を学ぶ	1後	2							1
教養教育科目	人間と自然	いのちと健康	1前	2							1
		生活と健康	1後	2							1
教養教育科目	生活と社会	共生科学	1後	2							5
		社会に出るまでに知っておきたい事Ⅰ	3前	1							4
教養教育科目	人間と自然	教養としての自然科学A	3前	1							5
		教養としての自然科学B	3後	1							5
教養教育科目	生活と社会	アメリカ学生研修SEASoN	1通	2							4
		数学入門	1後	2							1
教養教育科目	人間と自然	生活の中の物理学	1後	2							2
		化学の常識	1後	2							1
教養教育科目	生活と社会	環境と生物	1後	2							1
		教養としての化学数学	3前	1							1
教養教育科目	人間と自然	ジェンダー生理学	1前	2							1
		固体地球環境学入門	1後	2							1
教養教育科目	生活と社会	科学史	1後	2							1
		生活と色彩	1前	2							1
教養教育科目	人間と自然	健康・スポーツ科学	1後	2							6
		生命・運動・健康	1前	2		1					4
教養教育科目	生活と社会	人体科学	1後	2							3
		ベーシックサイエンスⅠ	1前	2							3
教養教育科目	人間と自然	ベーシックサイエンスⅡ	1後	2							1
小計(134科目)			—	2	206	0	6	3	0	0	126
科 共 学 目 通 部	生活環境学原論	児童学	1後	2							1
		家庭電機・家庭電気・情報処理	1後	2							1
科 共 学 目 通 部	小計(3科目)	文化情報学概論	—	2	4	0	0	0	0	0	3
		社会事業史	1前	2			8	5	1		1
科 共 学 目 通 部	生活の情報管理とシステム	ジェンダー文化論	1後	2			1				
		ジェンダー理論	2前	2			1				
科 共 学 目 通 部	ソーシャルリサーチ論	消費者法	2後	2							1
		家族関係論	2前	2			1				
科 共 学 目 通 部	食と農の経済学	人間関係文化論	2前	2				1			
		生活と情報倫理	2後	2							1
科 共 学 目 通 部	生活文化と人工知能	応用数学Ⅰ(微分積分学)	1前	2			1				
		応用数学Ⅱ(線型代数学)	1後	2				1			
科 共 学 目 通 部	生活と統計学	情報社会学	1後	2							1
		情報と職業	2前	2							1
科 共 学 目 通 部	文化情報学演習	経営データサイエンス	2後	2			8	5	1		
		失敗学と創造学	3前	2			1				1
小計(20科目)			—	6	34	0	8	5	1		6
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	食物科学概論	1前	2							6
		調理学実習	1前	1							1
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	応用調理学実習	1後	1							1
		衣環境学概論	1後	2							2
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	被服学実習Ⅰ	1前	1							1
		被服学実習Ⅱ	1後	1							1
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	家族援助法	1前	2							1
		経済政策	1前	2							1
コ ー ス 専 門 教 育 科 目	生活文化学コース専門教育科目	生活文化学入門	1後	2			6	2			
		生活文化学の方法	1後	2			1				1
コ ー ス 専 門 教 育 科 目											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准	講	助	手			
生活文化学コース専門教育科目	医療社会文化史	2前	2	2		1							
		2前	2	2								1	
生活文化学コース専門教育科目	社会統計学	2前	2	2								1	
		2前	2	2								1	
生活文化学コース専門教育科目	生活経営学	2前	2	2								1	
		2前	2	2								1	
生活文化学コース専門教育科目	経済原論Ⅰ(ミクロ経済学)	2前	2	2								1	
		2前	2	2								1	
生活文化学コース専門教育科目	経済原論Ⅱ(マクロ経済学)	2前	2	2								1	
		2前	2	2								1	
生活文化学コース専門教育科目	女性生活史	2後	2	2		1							
		2後	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	人口と家族の社会学	2後	2	2			1						
		2後	2	2				1					
生活文化学コース専門教育科目	生活経済学	2後	2	2				1					
		2後	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	ライフスタイルと法	2後	2	2				1					
		2後	2	2					1				
生活文化学コース専門教育科目	Multicultural Society	2後	2	2								1	
		2後	2	2									1
生活文化学コース専門教育科目	消費者法演習	2後	2	2			1						
		2後	2	2				1					
生活文化学コース専門教育科目	視覚文化論演習	2後	2	2		1							
		2後	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	ジェンダー文化論演習	3前	2	2		1							
		3前	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	人間関係論演習	3前	2	2			1						
		3前	2	2				1					
生活文化学コース専門教育科目	人間関係文化論外書購読	3前	2	2				1					
		3前	2	2					1				
生活文化学コース専門教育科目	家族関係論演習	3前	2	2			1						
		3前	2	2				1					
生活文化学コース専門教育科目	生活文化史演習	3前	2	2		1							
		3前	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	社会システム論演習	3前	2	2			1						
		3前	2	2				1					
生活文化学コース専門教育科目	生活経済学演習	3前	2	2				1					
		3前	2	2					1				
生活文化学コース専門教育科目	生活文化学演習	3後	2	2		4	3	1					
		3前	3	3		1							
生活文化学コース専門教育科目	インターシップ実習(生活文化学)	3前	3	3		1							
		3前	3	3		1							
生活文化学コース専門教育科目	小計(38科目)	—	2	66	1	4	3	1	0	0	20		
		—	2	66	1	4	3	1	0	0	20		
生活文化学コース専門教育科目	生活文化学卒業演習Ⅰ	4前	2	2		4	3	1					
		4後	2	2		4	3	1					
生活文化学コース専門教育科目	生活文化学卒業演習Ⅱ	4前	2	2		4	3	1					
		4後	2	2		4	3	1					
生活文化学コース専門教育科目	卒業研究Ⅰ	4前	6	6		4	3	1					
		4後	6	6		4	3	1					
生活文化学コース専門教育科目	卒業研究Ⅱ	4前	6	6		4	3	1					
		4後	6	6		4	3	1					
生活文化学コース専門教育科目	小計(4科目)	—	16	0	0	4	3	1	0	0	0		
		—	16	0	0	4	3	1	0	0	0		
生活文化学コース専門教育科目	プログラミング言語Ⅰ	1前	2	2			1						
		1前	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	プログラミング言語演習	2前	2	2				1					
		2前	2	2				1					
生活文化学コース専門教育科目	プログラミング言語Ⅱ	2前	2	2					1				
		2前	2	2					1				
生活文化学コース専門教育科目	離散数学	1後	2	2			1						
		1後	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	情報処理技術Ⅰ	1前	2	2								1	
		1後	2	2								1	
生活文化学コース専門教育科目	情報処理技術Ⅱ	1後	2	2									1
		1後	2	2									1
生活文化学コース専門教育科目	データベース論	1後	2	2									1
		1後	2	2									1
生活文化学コース専門教育科目	データベース演習	1後	2	2									1
		1後	2	2									1
生活文化学コース専門教育科目	アルゴリズムとデータ構造	1後	2	2			1						
		1後	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	論理回路論	2前	2	2									1
		2前	2	2									1
生活文化学コース専門教育科目	計算機アーキテクチャ論	2後	2	2			1						
		2後	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	生活と情報理論	2前	2	2									1
		2後	2	2									1
生活文化学コース専門教育科目	計算機ネットワーク	2前	2	2									1
		2後	2	2									1
生活文化学コース専門教育科目	計算機実験Ⅰ	2前	2	2		2	2	1					
		2後	2	2		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	計算機実験Ⅱ	2前	2	2		2	2	1					
		2後	2	2		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	ソフトウェア工学概論	2前	2	2		1							1
		2後	2	2		1							1
生活文化学コース専門教育科目	ヒューマンインターフェース概論	2前	2	2									1
		2後	2	2									1
生活文化学コース専門教育科目	言語処理系論	3前	2	2			1						
		3前	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	オペレーティングシステム論	3前	2	2		1							
		3前	2	2		1							
生活文化学コース専門教育科目	パターン認識	3前	2	2			1						
		3前	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	ソーシャルコンピューティング論	3前	2	2				1					
		3前	2	2				1					
生活文化学コース専門教育科目	生活と数理論理学	3後	2	2			1						
		2後	2	2		1							
生活文化学コース専門教育科目	生活と人工知能	2後	2	2				1					
		3後	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	グラフ理論	3後	2	2			1						
		3後	2	2			1						
生活文化学コース専門教育科目	プログラミング特別演習Ⅰ	1-4前	2	2		2	2	1					
		1-4後	2	2		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	プログラミング特別演習Ⅱ	1-4前	2	2		2	2	1					
		1-4後	2	2		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	プログラミング特別演習Ⅲ	1-4前	2	2		2	2	1					
		1-4後	2	2		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	プログラミング特別演習Ⅳ	1-4前	2	2		2	2	1					
		1-4後	2	2		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	プログラミング特別演習Ⅴ	1-4前	2	2		2	2	1					
		1-4後	2	2		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	プログラミング特別演習Ⅵ	1-4前	2	2		2	2	1					
		1-4後	2	2		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	プログラミング特別演習Ⅶ	1-4前	2	2		2	2	1					
		1-4後	2	2		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	プログラミング特別演習Ⅷ	1-4前	2	2		2	2	1					
		1-4後	2	2		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	情報処理技術特別演習	3後	2	2		2	2	1					
		3後	2	2		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	小計(33科目)	—	20	46	0	2	2	1	0	0	2		
		—	20	46	0	2	2	1	0	0	2		
生活文化学コース専門教育科目	卒業研究Ⅰ	3前	3	3		2	2	1					
		3後	3	3		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	卒業研究Ⅱ	4前	5	5		2	2	1					
		4後	5	5		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目	卒業研究Ⅲ	4前	5	5		2	2	1					
		4後	5	5		2	2	1					
生活文化学コース専門教育科目													

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・教育課程充実のため、教養教育科目に以下の科目を追加。
 - 「中国語検定初級Ⅰ」「中国語検定初級Ⅱ」「中国語検定中級Ⅰ」「中国語検定中級Ⅱ」「韓国語初級Ⅰ」「韓国語初級Ⅱ」「韓国語中級Ⅰ」「韓国語中級Ⅱ」「考える力をみがく」「諸藩への誘い」「部落史と部落問題」「ベトナムの言語と文化」「哲学の歴史」「現代宗教学への招待」「心の科学への招待」「社会と文化の心理学」「西洋の言語と文化」「西洋の美と芸術」「音楽概説」「地域の人と暮らし」「自然環境の地理学」「奈良と教育—ここはどこ？私は誰？—」「文化と民族」「法律学」「政治学」「国際関係論」「経済学」「女性リーダー論」「女性リーダーシップ演習」「奈良を知る」「社会に出るまで知っておきたい科学Ⅰ」「教養としての自然科学A」「教養としての自然科学B」「アメリカ学生研修SEASoN」「数学入門」「教養としての化学数学」「ジェンダー生物学」「固体地球環境学入門」「科学史」「生活と色彩」「ベーシックサイエンスⅠ」「ベーシックサイエンスⅡ」
- ・科目内容に則した名称とするため、「古典を読むⅠ」「古典を読むⅡ」を「古典を読むA」「古典を読むB」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「プラクティカル・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼10」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「ドイツ語ⅠA」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「ドイツ語ⅠB」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「フランス語ⅠB」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「中国語Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「健康運動実習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「健康運動実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「情報処理入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「講師1、兼1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「これからの社会で生きるために」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「バサージュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「准教授1、講師1、兼15」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「アジア学入門」の専任教員等の配置を、「兼1」から「講師1、兼7」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「歴史学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「人類史」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「環太平洋くろしお文化論」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「人権と差別」の専任教員等の配置を、「兼1」から「准教授1、兼6」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「ジェンダー論入門」の専任教員等の配置を、「教授1」から「教授2、准教授1、兼4」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「なら学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「講師1、兼7」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「共生科学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「生活の中の物理学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「健康・スポーツ科学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「生命・運動・健康」の専任教員等の配置を、「兼1」から「教授1、兼4」に変更。
- ・学生の受講便宜を図るため、「ことばのしくみ」を「後期」から「前期」に変更。

【令和5年度】

- ・教育課程充実のため、教養教育科目に以下の科目を追加。
 - 「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅠC」「日本語ⅠD」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」「日本語ⅡC」「日本語ⅡD」「日本事情A」「日本事情B」「日本事情C」「日本語FⅠ」「日本語FⅡ」「日本語Ⅲ」「日本語FⅣ」「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「情報基礎」「統計学」「日本文化と地域社会A」「日本文化と地域社会B」「日本文化と地域社会C」「日本文化と地域社会D」「Modern Japanese Literature and Media A」「Modern Japanese Literature and Media B」「Japanese Culture and History A」「Japanese Culture and History B」「Contemporary Japanese Society A」「Contemporary Japanese Society B」「Traditional Japanese Culture A」「Traditional Japanese Culture B」「Global Studies and Communication A」「Global Studies and Communication B」
- ・教育内容の充実を図るため、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「プラクティカル・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼10」に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「アカデミック・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「プレゼンテーション・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「ドイツ語ⅡA」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「フランス語ⅡA」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「スポーツ実習」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「環太平洋くろしお文化論」の専任教員等の配置を、「兼6」から「兼7」に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「人権と差別」の専任教員等の配置を、「教授1、兼6」から「教授1、兼7」に変更
- ・科目編成の見直し等のため、「ドイツ語ⅠA」の専任教員等の配置を、「兼3」から「兼2」に変更
- ・科目編成の見直し等のため、「ドイツ語ⅠB」の専任教員等の配置を、「兼3」から「兼2」に変更
- ・科目編成の見直し等のため、「ドイツ語ⅡA」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更
- ・科目編成の見直し等のため、「フランス語ⅠB」の専任教員等の配置を、「兼2」から「兼1」に変更
- ・科目編成の見直し等のため、「健康運動実習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼2」から「兼1」に変更
- ・科目編成の見直し等のため、「健康運動実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「兼2」から「兼1」に変更
- ・科目編成の見直し等のため、「諸学への誘い」の専任教員等の配置を、「兼10」から「兼1」に変更
- ・科目編成の見直し等のため、「バサージュ」の専任教員等の配置を、「准教授1、講師1、兼15」から「講師1、兼14」に変更
- ・科目編成の見直し等のため、「アジア学入門」の専任教員等の配置を、「講師1、兼7」から「講師1、兼6」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「アジア学入門」の専任教員等の配置を、「講師1、兼7」から「准教授1、兼6」に、「なら学」の専任教員等の配置を、「講師1、兼7」から「准教授1、兼7」に変更。
- ・「食と農の経済学」「生活経済学」「生活経済学演習」の専任教員等の配置を、「講師1」から「准教授1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「人間関係文化論」「人間関係文化論外書購読」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「日本国憲法」「消費者法」「ライフスタイルと法」「消費者法演習」「インターンシップ実習（生活文化学）」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の昇任及び採用により、「文化情報学概論」「文化情報学演習」の専任教員等の配置を、「教授6、准教授5、講師2」から「教授8、准教授5、講師1」に、「生活文化学入門」「生活文化学演習」「生活文化学卒業演習Ⅰ」「生活文化学卒業演習Ⅱ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授4、准教授3、講師1」から「教授6、准教授3」に変更
- ・担当教員の採用により、「企業経済論演習」を追加
- ・担当教員の採用により、「経済原論Ⅰ（ミクロ経済学）」「経済原論Ⅱ（マクロ経済学）」の専任教員等の配置を、「兼1」から「准教授1」に変更

【令和6年度】

- ・教育内容の充実を図るため、「中国語Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「健康運動実習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「健康運動実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「バサージュ」の専任教員等の配置を、「准教授1、兼14」から「准教授1、兼21」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「古典を読むA」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「人体科学」の専任教員等の配置を、「教授2、講師1、兼3」から「教授2、講師1、兼1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「生活文化学入門」の専任教員等の配置を、「教授6、准教授2」から「教授6、准教授3」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「先端設計生産工学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼3」から「兼5」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「先端設計生産工学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「兼3」から「兼5」に変更。
- ・科目編成の見直し等のため、「これからの社会で生きるために」の専任教員等の配置を、「兼13」から「兼1」に変更。
- ・科目編成の見直し等のため、「アジア学入門」の専任教員等の配置を、「准教授1、兼6」から「准教授1、兼4」に変更。
- ・科目編成の見直し等のため、「歴史学」の専任教員等の配置を、「兼3」から「兼1」に変更。
- ・科目編成の見直し等のため、「人類史」の専任教員等の配置を、「兼5」から「兼1」に変更。
- ・科目編成の見直し等のため、「環太平洋くろしお文化論」の専任教員等の配置を、「兼7」から「兼6」に変更。
- ・科目編成の見直し等のため、「人権と差別」の専任教員等の配置を、「兼7」から「兼4」に変更。
- ・科目編成の見直し等のため、「なら学」の専任教員等の配置を、「准教授1、兼7」から「准教授1、兼5」に変更。
- ・科目編成の見直し等のため、「社会に出るまで知っておきたい科学Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼4」から「兼1」に変更。
- ・科目編成の見直し等のため、「アメリカ学生研修SEASoN」の専任教員等の配置を、「教授1、兼4」から「教授1、兼1」に変更。
- ・科目編成の見直し等のため、「生活の中の物理学」の専任教員等の配置を、「兼2」から「兼1」に変更。
- ・科目編成の見直し等のため、「ベーシックサイエンスⅠ」の専任教員等の配置を、「兼3」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「プログラミング言語Ⅱ」の専任教員等の配置を、「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「データベース論」の専任教員等の配置を、「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「データベース演習」の専任教員等の配置を、「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「計算機実験Ⅰ」の専任教員等の配置を、「教授2、准教授2、講師1」から「教授2、准教授3」に変更。
- ・担当教員の昇任及び採用により、「計算機実験Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授2、准教授2、講師1」から「教授2、准教授3」に変更。
- ・担当教員の採用により、「消費経済分析論」の専任教員等の配置を、「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「プログラミング特別演習Ⅵ」の専任教員等の配置を、「教授2、准教授2、講師1」から「教授4、准教授2、講師1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「プログラミング特別演習Ⅶ」の専任教員等の配置を、「教授2、准教授2、講師1」から「教授4、准教授2、講師1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「情報処理技術特別演習」の専任教員等の配置を、「教授2、准教授2、講師1」から「教授4、准教授2」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「ソフトウェア工学概論」の専任教員等の配置を、「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、以下の科目の専任教員等の配置を、「教授8、准教授5、講師1」から「教授9、准教授6、講師1」に変更。
 - 「文化情報学概論」「文化情報学演習」
- ・担当教員の退職及び採用により、以下の科目の専任教員等の配置を、「教授2、准教授2、講師1」から「教授3、准教授3、講師1」に変更。
 - 「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」「卒業研究Ⅳ」

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
23 科目	141 科目	1 科目	165 科目	23 科目 [0]	214 科目 [73]	1 科目 [0]	235 科目 [70]	(記入例：指定規則の場合) 【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計 (A) ○科目 変更状況：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計○科目

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	ことばと文化	2	1	一般	選択	隔年開講のため
2	考古学ゼミ	2	1	一般	選択	隔年開講のため
3	家族援助法	2	1	専門	選択	隔年開講のため
4	生活文化学の方法	2	1	専門	選択	隔年開講のため
5	食生活文化論	2	1	専門	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	家庭機械・家庭電気・情報処理	2	1	専門	選択	免許法改正による廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については全て隔年開講による計画的なものであり、令和7年度に開講することから学生の履修への影響は特にないと考えている。廃止科目「家庭機械・家庭電気・情報処理」については、免許法改正による教職認定基準の変更に基づく廃止（在学生一斉適用）であり、学生の履修への影響は特にないと考えている。学生への周知方法に関しては、学生向け履修案内冊子（全学教育ガイド）に記載している他、学期始めに実施されるガイダンスにおいて周知されている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{6}{165} = \boxed{3.63} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 その他には附属学校等 敷地を含む。			
	校 舎 敷 地	66,081㎡	0㎡	0㎡	66,081㎡				
	運動場用地	10,179㎡	0㎡	0㎡	10,179㎡				
	小 計	76,260㎡	0㎡	0㎡	76,260㎡				
	そ の 他	104,050㎡	0㎡	0㎡	104,050㎡				
	合 計	180,310㎡	0㎡	0㎡	180,310㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 新築したため (4)				
	59,979 59,605 ㎡ (59,979 59,605 ㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	59,979 59,605 ㎡ (59,979 59,605 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	41室	58室	147室	6室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		専任教員を採用したため (5) (6)			
		生活環境学部 文化情報学科		16 14 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 (うち外国書) 冊	学術雑誌 (うち外国書) 種	電子ジャーナル (うち外国書) 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定が不 能なため、大学全体の 数 図書等の新規受入並び に廃棄のため (4) (5) (6)	
	生活環境学部 文化情報学科	597,704 [162,389] 586,458 [160,602] (599,203 [163,147]) (598,771 [162,877]) (597,704 [162,389]) (586,458 [160,602])	18,969 [6,349] 18,246 [6,385] (19,270 [6,445]) (19,107 [6,345]) (18,969 [6,349]) (18,246 [6,385])	3,703 [3,703] 3,751 [3,751] (3,766 [3,766]) (3,698 [3,698]) (3,703 [3,703]) (3,751 [3,751])	11,265 11,266 (11,148) 11,265 11,266 (11,148)	1,652 1,616 (1,447) 1,652 1,616 (1,447)	161 (161)		
		計	597,704 [162,389] 586,458 [160,602] (599,203 [163,147]) (598,771 [162,877]) (597,704 [162,389]) (586,458 [160,602])	18,969 [6,349] 18,246 [6,385] (19,270 [6,445]) (19,107 [6,345]) (18,969 [6,349]) (18,246 [6,385])	3,703 [3,703] 3,751 [3,751] (3,766 [3,766]) (3,698 [3,698]) (3,703 [3,703]) (3,751 [3,751])	11,265 11,266 (11,148) 11,265 11,266 (11,148)	1,652 1,616 (1,447) 1,652 1,616 (1,447)		161 (161)
		(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 収容し手に付い、閲覧 席・書架を増設した。 (4)
4,523㎡			175 159		509,831 488,259				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	1,822㎡		テニスコート3面		弓道場				
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	—	—	図書購入費	—	—	—	
	共 同 研 究 費 等	—	—	設備購入費	—	—	—		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		—	—	—	—	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要			—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	奈 良 女 子 大 学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
人文社会学科	4	60	-	240	学士(文学)	1.10	1.10	-	平成7	同上	学部で一括募集しているため、
言語文化学科	4	50	-	200	学士(文学)	1.07	1.07	-	平成7	同上	学科別入学者数は定員で按分し
人間科学科	4	40	-	160	学士(文学)	1.10	1.10	-	平成7	同上	算出している。
(学部共通)			3年次								
			16	32		-	-	-			
理学部					学士(理学)	1.06	1.06	-	昭和28	奈良県奈良市北魚屋西町	
数物科学科	4	57	-	240	学士(理学)	1.05	1.05	-	平成26	同上	
化学生物環境学科	4	78	-	330		1.07	1.07	-	平成26	同上	
(学部共通)			3年次								
			10	20		-	-	-			
生活環境学部						1.11	1.11	-	平成5	奈良県奈良市北魚屋西町	
食物栄養学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.09	1.09	-	平成17	同上	
心身健康学科	4	35		150	学士(生活健康科学)	1.16	1.16	-	平成26	同上	
情報衣環境学科	4	-	-	70	学士(生活環境学)	-	-	-	平成26	同上	令和4年度から学生募集停止
住環境学科	4	30		130	学士(生活環境学)	1.15	1.15	-	平成18	同上	
生活文化学科	4	-	-	60	学士(生活環境学)	-	-	-	平成18	同上	令和4年度から学生募集停止
文化情報学科	4	30		60	学士(生活環境学)	1.10	1.10	-	令和4	同上	
生活文化学コース											
文化情報学科	4	15		30	学士(生活環境学)	1.15	1.15	-	令和4	同上	
生活情報高度化学コース											
(学部共通)			3年次								
(食物栄養学除く)			4	8		-	-	-			令和6年度より編入学生受入開始
工学部									令和4	奈良県奈良市北魚屋西町	
工学科	4	45	-	90	学士(工学)	1.08	1.08	-	令和4	同上	
(学部共通)			3年次								
			10	20		-	-	-			令和6年度より編入学生受入開始
大学全体	4	475	3年次40	1980	-	1.08	1.08	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

・令和4年4月 矢島洋一准教授、中田大貴准教授 教授昇任 ・令和4年4月 大高千明助教 (専任) 講師昇任
・他大学転出又は定年退職のため、以下の教員を変更 (兼任) 小川英巳
・教養教育科目の充実のため、以下の教員を追加 (兼任) 市川千恵子、内田忠賢、小川伸彦、小林毅、酒井敦、篠田正人、鈴木康史、全有耳、高須夫悟、高田将志、高橋智彦、 竹本憲昭、中澤静男、中島隆行、西村雄一郎、根本哲夫、藤平真紀子、Mark Scott、宮林謙吉、村松加奈子、森藤紳哉、山下靖、 山本一樹、遊佐陽一、吉田容子、吉村倫一、大伏雅士、伊達桃子、浅田晴久、石坂友司、井上邦子、岩口伸一、北山 聡佳、黒川 嘉子、 佐藤宏明、三部倫子、杉浦真由美、高島弘、中山留美子、信川正順、松岡由貴、室崎(稲地)千重、保田卓、吉川尚男、高德希、雲島知恵、 森田尋子、大賀克彦、浅野友之、瀬戸蘭美、野口克行、蜂谷崇、盛田有貴、上村尚平、金井友希美、小路田俊子、斉藤恵美、ハヶ代美佳 (兼任) 芦名裕子、安善姫、池田晋也、伊藤令子、宇埜直子、長田明日華、何韻、各務奈緒子、柿本佳美、郭真希、金井塚康弘、 亀井明子、北口紗織、金幸隆、小松紀子、堺雅志、島津良子、島本太香子、杉本舞、杉山晋平、瀬山紀子、曹偉琴、高岡昌子、 竹中章勝、辻野和美、鶴田尚美、戸城杏奈、戸田真紀子、中川統雄、野口理恵、畠中茉莉子、平野綾香、藤田あゆみ、松尾善紀、松岡悦子、松本栄次、 村上史朗、森田芳文、山下大輔、吉田容子、吉村智博
・教養教育科目の充実のため、以下の教員の担当科目を変更 (兼任) 林田敏子、山崎明子、安藤(長瀬)香織、大塚浩、澤田佳世、新出尚之、青木美紗、高田雅美、井上洋一、大平幸代、小倉裕範、齊藤美和、佐伯和彦、須賀あゆみ、 鈴木広光、高岡尚子、寺岡伸悟、西村さとみ、西谷地晴美、星野聡子、水垣源太郎、宮路(丸山)淳子、武藤康弘、柳澤有吾、吉田孝夫、吉村あき子(杉浦哲子)、 小野寺春、今野弘章、田中希生、中川千帆、前田真砂美、矢島洋一 (兼任) 宇山満
・健康上の理由により「往生活文化論」「児童学」兼任講師の変更

【令和5年度】

・令和5年4月 安藤香織准教授、石坂友司准教授、大塚浩准教授 教授昇任 ・令和5年4月 青木美紗講師 准教授昇任 ・令和5年4月 蜂谷崇助教、野口克行助教 准教授昇任 ・令和5年4月 安橋正人准教授 着任
・他大学転出又は定年退職のため、以下の教員を変更 (兼任) 井上洋一、佐伯和彦、山下靖、今野弘章
・教養教育科目の充実のため、以下の教員を追加 (兼任) イザベル・トノムラ、浦康之、片野泉、トーマス・ハックナー、野村鮎子、藤田盟児、藤原素子、渡邊利雄、 児玉麻美、瀧本栄二、竹橋洋毅、松本有正、村上麻佑子、松永光代、吉川仁子、吉田伸治、許載永、森田俊吾、松原千恵 (兼任) 今枝杏子、請田義人、大島佳代、小島吉之、田中雅子、樽井由紀、中川明日佳、久岡明穂、廣野陽子、祐野恵、和田珠子、渡辺恭彦
・教養教育科目の充実のため、以下の教員の担当科目を変更 (専任) 鴨浩靖、 (兼任) 市川千恵子、大平幸代、駒谷昇一、高須夫悟、高村仁知、成瀬九美、西谷地晴美、星野聡子、MarkScott、水垣源太郎、柳澤有吾、吉田容子、吉村あき子、 石坂友司、中川千帆、前田真砂美、雲島知恵、上村尚平、小路田俊子、斉藤恵美

【令和6年度】

・令和6年4月 中川千帆准教授、吉田伸治准教授 教授昇任 ・令和6年4月 高田雅美専任講師 准教授承認
・他大学転出又は定年退職等のため、以下の教員を変更 (兼任) 小林毅、盛田有貴、城和貴、高田将志、西谷地晴美、武藤康弘、渡邊利雄
・教養教育科目の充実のため、以下の教員を追加 (兼任) 橋田 力、比連崎 悟、柳沢 卓、磯部 敦、菊崎 泰枝、中島 隆行、岡崎 武生、児島 啓祐、高島 弘、永廣 秀子、堀 沙耶香、前田 英之 (兼任) 伊藤 佳乃子、宇埜 直子、坂井 禎介、笹本 涼子、莊文淵、竹家 一美、中務 真人、濱崎 雅孝、平塚 卓也、山本 尚子
・教養教育科目の充実のため、以下の教員の担当科目を変更 (兼任) 市川 千恵子、吉岡 英生、大平 幸代、須賀 あゆみ、鈴木 広光、高村 仁知、高須 夫悟、竹本 憲昭、西村 雄一郎、藤原 素子、宮林 謙吉、森藤 紳哉、 吉岡 英生、吉村 あき子、浅田 晴久、鴨 浩靖、三部 倫子、西村 さとみ、松本 有正、高德 希、大賀 克彦、田中 希生、蜂谷 崇、 盛田 有貴、上村 尚平、金井 友希美、小路田 俊子、斉藤 恵美、ハヶ代 美佳、芦名 裕子 (兼任) 請田 義人、大島 佳代、長田 明日華、辜 知愚、祐野 恵
・専門教育科目の充実のため、以下の教員を追加 (専任) 須藤 克仁、水原 啓暁 (兼任) 藤原 賢二、高木 博志、村瀬 博昭

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	
	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
6	5	2	0	13	0	9	6	1	0	16	0
(6)	(5)	(2)	(0)	(13)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
9	7	1	1	18	0	9	7	1	1	18	0
[3]	[2]	[Δ1]	[1]	[5]	[0]	[3]	[2]	[Δ1]	[1]	[5]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{13} = \boxed{138.46} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{16} = \boxed{6.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和３年)	特に経済学分野や理学分野の学修について、本学科の教育目標に照らして、基礎から応用までを体系的に学修できるように、科目を充実させるなど教育課程の見直しを検討すること。	【認可】 遵守事項	令和５年４月１日付で経済学分野を専攻する専任教員を１名採用し、その教員が現状兼担教員担当科目の一部を担当し、隔年開講であった授業科目を毎年開講に変更することで教育課程を充実させる予定である。また、完成年度までに生活情報通信科学コースに専任助教を１名採用することとし、この教員に数学、情報科学といった理学分野の教育を担当させることで教育課程の充実を図る。「経済学」「教養としての自然科学A/B」等を新設することとし、基礎的な科目を充実させたところである。 (４)	完成年度までに理学分野の専任教員を採用し、授業科目の充実を図る予定
認 可 時 (令和〇〇年)		【認可】 助言事項		履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和●●年度)	・○○学部○○学科において、～を是正すること。	【ＡＣ】 指摘事項 (是正)		履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和△△年度)	・同一設置者が設置する既設学部等(◆◆学科)の～改善に努めること。	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)		履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)	・大学設置基準に抵触するため、改めること。(△△学部△△学科)	【ＡＣ】 指摘事項 (法令違反)		履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)	・～については是正すること。	【ＡＣ】 指摘事項 (是正)		履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)	・○○大学の既設学部等(◆◆学科、●●学科)の～改善に努めること。	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)		履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（**学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。**）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を転記し文末に「（６）」と記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
- 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を転記し文末に「（６）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生活環境学部 文化情報学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見直しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
奈良女子大学生活環境学部ファカルティ・ディベロップメント委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
教授会の開催とあわせ、年1回程度開催。令和5年度は令和6年3月19日に開催。構成員61名中49名参加。

c 委員会の審議事項等
一 ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）の基本方針に関すること。
二 FDの実施及び実施体制に関すること。
三 FDの評価に関すること。
四 その他FDに関すること。

② 実施状況

a 実施内容
令和5年度は令和6年3月19日に開催。近年の入試動向の分析をもとに、受験生から何を求められているのかの解説があり、授業内容を含めてこれからどのように魅力的なカリキュラムにしていくかの検証がなされた。

b 実施方法
スライド資料を用いた対面での実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）
学部構成員61名中49名参加。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
近年の学生がどのようなことを訴求しているのか意識するようになってきており、研修の効果が垣間見えるところである。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
毎年実施。実施時期は前期末と後期末の年2回。

b 教員や学生への公開状況、方法等
アンケートの回答は業者に集計を依頼し、集計結果を授業担当教員にフィードバックし授業改善に役立てている。
学生からの自由記述コメント等に対しては教員からコメントすることを促しており、教員からのコメントは窓口で学生が自由に閲覧できるようにしている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の計画・目的等、設置計画どおりに実施している。今後も引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
令和6年度 公表予定

b 公表方法
大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画
令和9年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による
大学機関別認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。